

巻 頭 言



広島県知事 湯崎 英彦

外国人から選ばれる広島県を目指して

広島県では、2020年10月に「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」を策定し、「将来にわたって、『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島県の実現」を基本理念として、県民一人一人が「安心」と「誇り」を持ち「挑戦」できる社会の実現を目指すこととしております。

この中で、外国人につきましても、県民誰もが、民族、国籍などの多様性を認め合い、支え合いながら自分らしく活躍でき、安心と活気あふれる共生のまちづくりを進めていくこととしております。

こうした中、外国人を巡る環境は、2019年の転職や家族同伴が可能となる新たな在留資格制度「特定技能」の導入や新型コロナウイルスによる外国人の入国制限などにより大きく変化しており、本県を目指す姿を実現するためには、これまで以上に外国人と地域とのつながりを深め、外国人の社会的な孤立を防ぐ必要があると考えております。

そのため、様々な地域行事やイベント等を通して、外国人の方々が地域住民と交流を深めることで、外国人と地域住民、外国人同士の「橋渡し」の役割を担うキーパーソンを見出し、活動していただける仕組みづくりを進めるとともに、地域におけるコミュニティー拠点として、誰もが気軽に集うことができる地域日本語教室の充実や新規開設などを、感染防止対策に配慮しつつ、市町と連携して取り組んでいるところです。

また、県や市町の行政情報・生活関連情報、各種手続き等を多言語で一元的に情報発信するWEBページ「Live in Hiroshima」を充実させるとともに、医療、防災、住宅確保、教育、生活安全等の各分野で、多言語対応や情報提供の充実を図るなど、外国人が必要なサービスを確実に受けられる環境整備を進めているところです。

一方、県内企業の外国人労働者に対するニーズは依然として高く、外国人労働者の受入拡大に伴う様々な課題に対し、庁内の部局を超えて迅速かつ総合的に対応していくための「外国人材の受入・共生対策プロジェクト・チーム」を設置し、県内中小企業等において、貴重な戦力として外国人労働者の活躍が促進されるよう、就労面においても受入環境を一層整備するための取り組みを実施しております。

こうした就労面・生活面での総合的な取り組みを通じて、より一層外国人から選ばれる広島県を目指してまいります。